



▶誰でも使える多目的トイレ

方などが安心して街に外出し行動範囲を拡大できるよう、公共施設等のバリアフリー情報を紹介するバリアフリー



議員 障がい者や高齢者、乳幼児をお連れの方

バリアフリー情報

マップで街を活性化せよ

「利用者との意見交換をしていく」

遠藤英樹議員

議員 障がい者や高齢者、乳幼児をお連れの方

ーマップについて充実させる考えは。

福祉部長 公共施設だけでなく、一般的に利用する機会の多い店舗や飲食店、病院などの情報についても掲載していくことが望ましいと考える。

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では9月6日、7日、10日、11日の4日間にかけて、18人の議員が一般質問を一問一答方式で行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要です。



▲9月28日、戸田南小で実践的防災教育総合支援事業（文部科学省委嘱）による防災訓練が行われました。



そとがききたい

いじめ

現状と今後の対策は

「教育相談体制を充実する」



議員 いじめについて教育委員会の認識は。

教育部長 決して許すことのできない問題。いじめか否かの判断は、表面的、形式的でなく、いじめられた児童生徒の立場に立って対応すべきと考える。

議員 ネットいじめ等、いじめの多様化については。

教育部長 ネットいじめも小中学校からの報告がある。各学校で迅速に対処し、解消に向かっていく。

富岡節子議員

議員 いじめ対応等に悩み、先生も病気で休職するケースも多く出ているが、教育委員会としては、今後どのように考えているのか。

教育部長 報告に迅速に対応し、教育センターの相談機能を生かし、子供が相談しやすい体制の充実を図り、強化していく。また、その中で、教師が一人で悩むことのないよう、学校全体の問題として取り組んでいく。

市の水害対策は

議員 荒川決壊時の対策と、市民の命、財産を守る施策は。



議員 市内を流れる河川・水路は、市民の憩いの場として、桜の花見や散歩など、さまざまな面で親しまれているが、新曽南を流れる三面張水路には、新曽排水路という名称はないので、市民にとって親しみやすい名前をつけてもらいたい。

都市整備部長 平成17年に「荒川左岸排水路」を「さくら川」に命名した事例があるが、同様に、桜並木が地域の良好な景観形成に役立つので、地域に合った、親しみやすい名前を地元町会に伺うなどして決定したいと思う。

議員 この水路にかかるとる元給食センター北側の橋も名前がないが、

一緒に考えてみては。

都市整備部長 水路の命名と一緒に決定をしていきたい。

保育園・幼稚園等の交通安全教育は

議員 小中学生に対する安全教育に取り組んでいるが、未就学児の交通安全対策は。

市民生活部長 すべての幼稚園等で教職員、園児、保護者に対し交通安全教育を実施、注意喚起、啓発を行っている。

就職活動支援について

議員 中・高等学校卒業の就職活動支援は。

市民生活部長 市独自では、中・高等学校卒業後の特化した支援は行っていないが、今後、支援策を図る。

熊木照明議員

新曽南を流れる三面張水路に名前をつけて

「親しみやすい名前を検討する」

新曽排水路



▶新曽排水路

総務部長 荒川氾濫時の浸水深と避難所を全町会に対し5カ所ずつ東京電力の電柱に表示するとともに、民間企業や危険性のない市町村等と災害協定の締結などを推進していく。

議員 京浜東北線の下など、荒川堤防の強化を国に強く要望するよう、改めて要望する。



▶京浜東北線の高架橋下